

都中P通信

No. 28

発行 平成25年6月 東京都公立中学校PTA協議会 会長 水上 幸夫

・・・一年を振り返って・・・

会長 水上 幸夫

都中P会員の皆様、一年を振り返って事務局長交代・事務局引っ越しがあり、体制が整わない中での出発になり会員の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しました。

今年度は、東京都立学校 PTA、幼・小・中・高の校種で結成される東京都立幼小中高 PTA 連絡協議会の主幹となり、都教委から委託を受け研修会を企画検討実施そして取りまとめをする年になりました。

各校種持っている課題に向き合い、都幼Pは子育てに関する講演・都小Pは防犯に関する講演・都高Pはコミュニケーションについてのグループワークショップを行いました。都中Pでは11月11日、中学校PTAリーダー研修会「ネット通信の拡大と子供」と題し、下田太一先生からネット通信の拡大により、コミュニケーション能力への影響とスマートフォンの普及による新たな問題点をお話いただきました。

12月8日、幼小中高PTAリーダー研修会では全校種共通課題の防災に向き合い各校種から取り組み発表と「本当の《生きる力》とは…現場から見た防災教育」学校・家庭・地域のつながりで育む力と題し、気仙沼市教育委員会副参事の及川幸彦先生を招き、3.11当時、気仙沼市立中井小学校教頭として子供達を守り、早期に学校を再開した実体験を通してのお話をいただきました。

年間を通して、子供達を取り巻く教育環境整備改善をめざし、親として大人として常に問題に向き合い、学び、考え、行動する集まりでありたいと考え歩んできました。

一年を終わるにあたり、今後も各地区の声を拾い上げ情報を発信していく東京都のPTA組織としてご理解・ご協力をお願いいたします。



*** 都中P 平成24年度の主な活動と平成25年度の主な活動予定 ***

<平成24年度の主な活動>

- ・定期総会／運営委員会／理事会／各委員会
- ・ブロック会島しょ大会(大島、利島)
- ・全都中学校地区PTA連合会(協議会)会長会
- ・東京都中学校PTAリーダー研修会
- ・東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会
- ・都中P・中親会合同賀詞交歓会
- ・第60回日本PTA全国研究大会参加
- ・都教委との懇談会
- ・東京都校長会との教育連絡会
- ・都教委への団体要望
- ・都中P／日P広報紙コンクール
- ・都公立中学校PTA賀詞交歓会
- ・広報紙、都中P通信の発行
- ・都中P要覧発行 等々

<平成25年度の主な活動予定>

- ・定期総会／運営委員会／理事会／各委員会
- ・全都中学校地区PTA連合会(協議会)会長会
- ・東京都中学校PTAリーダー研修会
- ・東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会
- ・都中P・中親会合同賀詞交歓会
- ・第61回日本PTA全国研究大会参加
- ・都教委との懇談会
- ・東京都校長会との教育連絡会
- ・都教委への団体要望
- ・都中P／日P広報紙コンクール
- ・都公立中学校PTA賀詞交歓会
- ・広報紙、都中P通信の発行
- ・都中P要覧発行 等々

*** 1年を振り返って <委員会から> ***

*** 総務財政委員会 ***

委員長 谷代 美保子

本年度は変動の年となり、本来の役割が果たせないまま特別委員会が主としての活動となりました。今年も各区市単Pの入学式説明会、入学式、地区P連運営委員会等に直接、保険代理店担当者に説明して頂き、好評を得ることができました。総務財政委員会の活動は①都中P厚生事業…(「セーフティプラン 24」「PTA 行事総合保険」は保険代理店の方と一緒にPTA目線で中学生のために作り、都中Pに加盟しているからこそ団体としてのメリットが詰まった保険制度です。加入者数によって集金事務費が収入になり会費と合わせ、都中P活動に役立つものです。

②未加入地区への呼び掛け…全都の地区P連に都中Pの取り組みについて理解して頂き、加入を呼び掛けることです。加入団体を増やして昔のように活気を取り戻し、全都地区P連と情報交換や連携を取りながら中学生の親として今、出来ることを考えて気持ちを合わせていけるように活動を応援したいと思います。今まで関わっていただきました全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



*** 研修委員会 ***

委員長 田谷 克裕

都中Pの広報紙の表紙に書かれている言葉に、「知るからはじまり 学びからつながる」と言うのがあります。まさに都中Pの活動は、この言葉そのものだと思います。単Pを出て、地区中P連を出て、都中Pに入って、言わば地域を、地区を、東京都を知ると言うことは、振り返って自分の出身単Pのあり方を考える良い機会になりました。単Pで抱える問題も、都中Pで抱える問題も、根っここの部分は同じような気がします。しかし、唯一違う点はその解決方法で、都中Pは規模の大きさからいろいろな解決の情報が入ります。その情報は、全都中学校地区PTA連合会会長の席であったり、東京都中学校校長会との教育連絡会であったり、毎月の都中P運営委員会・理事会であったりします。中でも、研修会では様々な事を学びました。今年度は東京都幼小中高PTA合同研修会で、講師に気仙沼市教育委員会副参事の及川幸彦氏をお呼びし、「本当の生きる力とは、現場から見た防災教育 学校・家庭・地域のつながりで育む力」と言う研修会を行いました。去る東日本大震災のまさに現場にいらした方の生の経験談でした。しかもその内容は私たちの身近(PTA)におけるお話でとても参考になりました。東京都中学校PTAリーダー合同研修会では、NPO 法人青少年メディア研究会理事長の下田太一氏をお呼びし、ネット通信の拡大と子ども、コミュニケーション能力への影響、スマートフォンの普及とその問題点等、近年保護者が最も問題としている点について研修しました。以上の研修会のざっと内容を書いただけでも皆さん興味をそそられますよね。今年の一年間はこう言った活動に終始しました。まさに冒頭に書きました言葉の通りの活動であったと思います。みんなで力を合わせれば、きっと何でも解決できる。そういう場の一つが都中Pだと思います。最後になりましたが、一年間、微力な研修委員会にお付き合いいただきありがとうございました。今後も、皆さんと力を合わせて都中Pの発展に努力したいと思います。



*** 特別委員会 ***

委員長 竹中 誠一

1年を振り返って、とても忙しい1年でした。特別委員会といいますが、実質はセーフティプラン24という保険の説明に各地区へお邪魔いたしました。昨年に続いて伺った足立区・世田谷区、初めて伺った、文京区・杉並区など都中Pの仕事をしていればこそのお仕事でした。昨年からの入学式当日の説明に伺うなど楽しい1年でした。収入の大事な柱ですので、やりがいがあり且つ大事な仕事との自負を持ちつつ仕事ことができました。次年度へ向け少しでも都中Pの収入が安定して入ってくるよう頑張りたいと思います。保険の事で話を聞きたいと思ったら、事務局に連絡をお願いします。セゾン保険の方と2人でお伺いします。昨年以上にお声を掛けて下さい。喜んでお伺いします。よろしくお願いします。



*** 広報委員会 ***

委員長 三輪 英則

単P活動や地区P連活動にて広報委員を経験したことが無い私にとって、苦勞の連続の1年でした。今年度は私の力量不足で、平成22年度から毎月発行し続けてきた、都中P通信は年5回の発行しかできなく、研修広報紙においても私の不手際にて発行が遅れ、皆様のお手元に届いたのは3月中旬となってしまい、また、会員の皆様にご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。1年と短い間でしたが、活動に協力を頂いた全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



セーフティプラン24 【中途加入できます】

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。個人会員で加入。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償(交通事故含む)を打ち出した保険として高い評価を得ている。加入、問い合わせは都中Pまで。E-mail : jpta@tokyo-jpta.org